

施策名：芸術文化の創造

事業名	担当課・室名	ページ
別府アルゲリッチ音楽祭開催事業(地域芸術文化振興事業)	芸術文化スポーツ局芸術文化振興課	2 / 6
大分アジア彫刻展(地域芸術文化振興事業)	芸術文化スポーツ局芸術文化振興課	3 / 6
県民芸術文化祭開催事業(芸術文化創造発信事業)	芸術文化スポーツ局芸術文化振興課	4 / 6
芸術文化基金事業(芸術文化創造発信事業)	芸術文化スポーツ局芸術文化振興課	5 / 6
おおいた文化のひろば創造事業	文化課	6 / 6

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

事業名	別府アルゲリッチ音楽祭開催事業 (地域芸術文化振興事業)		事業期間	平成10年度～平成 年度		政策区分	芸術文化による創造県おおいとの推進
	実施区分	芸術文化の創造					
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	芸術文化スポーツ局芸術文化振興課		評価者	芸術文化振興課長 佐藤 文博

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	人々が潤いある心豊かな生活を実現し、創造的で活力あふれる地域社会を構築するためには、芸術文化が不可欠であるが、世界的な高水準の音楽鑑賞の機会が少なく、機会がある場合も一部のクラシック音楽ファンに限られている。	事業の目的	県民が優れた芸術を享受できる機会を提供する。
-------	--	-------	------------------------

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	事業実施年度における効率化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①アルゲリッチ&マイスキー室内楽コンサート アルゲリッチと世界的なチェリストによる室内楽コンサート	・別府アルゲリッチ音楽祭の新たな拠点となる「しいきアルゲリッチハウス」のこけら落としコンサートのPRによる誘客の推進 ・東京でのチャリティコンサートの開催による、首都圏でのPR及び年間を通じたピノキオコンサートの財源確保	総コスト	38,000	38,000	38,000
②室内オーケストラコンサート アルゲリッチとプロのオーケストラによる室内楽コンサート		事業費	30,000	30,000	30,000
③大分県出身若手演奏家コンサート 県出身の若手演奏家によるコンサート		(うち一般財源)	30,000	30,000	30,000
④しいきアルゲリッチハウスこけら落としコンサート アルゲリッチ本人によるこけら落としコンサート		人件費	8,000	8,000	8,000
		職員数(人)	0.80	0.80	0.80

活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
対象コンサート数(回)	目標値		4	4	4		a	・アルゲリッチが出演しない公演の入場者数の確保	
	実績値		4	4					
	達成率		100.0%	100.0%					
イベント数(回)	目標値		7	7	7				
	実績値		7	7					
	達成率		100.0%	100.0%					

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
総入場者数(人)	目標値		5,000	5,000	5,000		a	巨匠マルタ・アルゲリッチを中心とする国際音楽祭を、別府市、大分市の主会場で開催することにより、県民に優れた芸術を享受する機会を提供するとともに、国内外に向けて最高レベルの芸術イベント開催地として情報発信することができた。	
	実績値		4,150	5,446					
	達成率		83.0%	108.9%					

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
--------	----	---------------	--------	----

今後の事業方針

- ・音楽祭の運営主体であるアルゲリッチ芸術振興財団の体制強化を支援するとともに、幅広い県民の理解を得るため、音楽祭を核とした教育や観光振興への積極的な活用
- ・ボランティアとの協働を一層促進させ、音楽を通じた地域振興に取り組むとともに事務の効率化を推進
- ・来場者及び収入の増加に向けて、県内外への広報活動の充実
- ・「しいきアルゲリッチハウス」の効果的な活用

事務事業評価調査

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

事業名	大分アジア彫刻展 (地域芸術文化振興事業)		事業期間	平成 4 年度～平成 年度		政策区分	芸術文化による創造県おおいの推進
				施策区分	芸術文化の創造		
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	芸術文化スポーツ局芸術文化振興課		評価者	芸術文化振興課長 佐藤 文博

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	芸術文化は県民の活力ある地域社会の形成に寄与する重要な役割を果たすことが期待されているが、日本やアジアにおける現代の多彩な芸術・文化に触れる機会が少ない。	事業の目的	県民に対し国内外の優れた芸術・文化に触れる機会を提供する。
-------	---	-------	-------------------------------

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容		事業実施年度における効率化の取組状況		コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)	
①第13回大分アジア彫刻展作品募集 参加国数15ヵ国 応募数411点(国内177点、国外234点) ②他の文化施設と連携した受賞作品紹介展示 大分県立美術館：展示4,782名 小幡記念図書館：展示935名、ワークショップ30名 ③大分アジア彫刻展受賞作家たちのその後展Ⅲ 第8回大賞受賞者の澤田志功氏の新作展覧会を実施(371名) ④公共施設等を活用した受賞作品の展示(県庁舎や市庁舎など4ヵ所) ※大分アジア彫刻展は隔年開催であり、偶数年に本展開催、奇数年に公募			・国内外芸術系大学や美術館と連携した広報の強化 ・他の文化施設との共催による過去受賞作品の展示	総コスト	11,900	8,900	13,700	
				事業費	6,900	3,900	8,700	
				(うち一般財源)				
				人件費	5,000	5,000	5,000	
				職員数(人)	0.50	0.50	0.50	
活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題
	こども彫刻展出品数(点)	目標値	222		222		a	・受賞作品鑑賞者数の増加
		実績値	300					
		達成率	135.1%					
	紹介展開催数(回)	目標値	4	2	2			
		実績値	4	2				
		達成率	100.0%	100.0%				

[3. 事業の成果]

指標名(単位)		達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
成果指標	イベント来場者数(人)	目標値	46,000		46,000		a	国内外の芸術系大学や美術館との連携や韓国語版の公募チラシの作成、SNSによる情報発信など、きめ細やかな広報等により、応募数が増加した。 (149点増加：今回応募数411点、前回は応募数262点) また、他の文化施設と連携した受賞作品紹介展を開催することで、効率的により多くの県民に優れた芸術作品の鑑賞の機会を提供した。
		実績値	61,797					
		達成率	134.3%					
作品応募数(人)	目標値			271				
	実績値			411				
	達成率			151.7%				

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・鑑賞者数を増やすため、広報活動の強化や朝倉文夫記念館までのわかりやすい交通案内等の周知 ・受賞作家と芸術系大学生等との交流イベントや小中学校への出前授業の実施などによる教育普及活動の強化				

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

事業名	県民芸術文化祭開催事業 (芸術文化創造発信事業)		事業期間	平成 1 1 年度～平成 年度		政策区分	芸術文化による創造県おおいとの推進
				施策区分	芸術文化の創造		
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	芸術文化スポーツ局芸術文化振興課	評価者	芸術文化振興課長 佐藤 文博	

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	県民が広く文化についての理解と関心を深めるためには、文化活動に接する多くの機会が必要であるが、財政基盤が脆弱な文化団体単独では大分県民芸術文化祭のような大規模の文化イベントは実施できない。	事業の目的	県民が優れた芸術文化を享受できる機会を提供する。
-------	--	-------	--------------------------

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容		事業実施年度における効率化の取組状況		コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①芸術文化フェスティバル 開幕行事、閉幕行事、研修会行事、ジャンル別行事、若者行事を開催(29行事) ②地域文化フェスティバル 地域文化行事を開催(7行事) ③参加行事 文化団体による関連催事を後援(177行事)			・県立美術館の積極的な活用 ・ポスターデザインを大分県立芸術文化短期大学の学生から公募	総コスト	27,812	27,808	27,808
				事業費	19,812	19,808	19,808
				(うち一般財源)	9,812	9,808	9,808
				人件費	8,000	8,000	8,000
				職員数(人)	0.80	0.80	0.80

活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題
	補助対象のみの開催行事数(回)	目標値		30	30	30		
実績値			36	36				
達成率			120.0%	120.0%				
	目標値							
	実績値							
	達成率							

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	全体の開催行事数(回)	目標値		180	200	200		
実績値			229	213				
達成率			127.2%	106.5%				

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・文化庁等の各種助成制度の積極的な活用 ・平成30年の国民文化祭大分開催に向け、県民が芸術文化へ更に関心を深める取組の実施				

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

事業名	芸術文化基金事業 (芸術文化創造発信事業)		事業期間	昭和 60 年度～平成 年度	政策区分	芸術文化による創造県おおいとの推進
					施策区分	芸術文化の創造
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課 (室) 名	芸術文化スポーツ局芸術文化振興課	評価者	芸術文化振興課長 佐藤 文博

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	文化団体は、財政基盤が脆弱で公的支援や協賛が得られなければ十分な活動が行えない。そのため、文化団体と県が共同で積み立てた大分県芸術文化基金を活用して、NPO法人大分県芸術文化振興会議を通じて活動支援を行っている。	事業の目的	芸術文化活動の振興を図る。
-------	--	-------	---------------

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容		事業実施年度における効率化の取組状況		コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①補助事業 文化活動実施団体への補助(50事業) ②芸術鑑賞事業 県内小中学校での公演・展示事業(47事業) ③文化芸術活動調査研究・情報発信事業 大分県文化年鑑の発行やホームページによる情報発信		・大分県芸術文化振興会議発足以来初となる総合フェスティバルを開催し自主財源を確保		総コスト	14,870	14,639	15,559
				事業費 (うち一般財源)	9,870	9,639	10,559
				人件費	5,000	5,000	5,000
				職員数(人)	0.50	0.50	0.50

活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題
	文化キャラバン実施回数(回)	目標値		30	30	30		
実績値			46	47				
達成率			153.3%	156.7%				
補助事業数(回)	目標値		50	50	50			
	実績値		43	50				
	達成率		86.0%	100.0%				

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	文化キャラバン鑑賞者数(人)	目標値		7,000	7,000	7,000		
実績値			8,337	8,416				
達成率			119.1%	120.2%				

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・NPO法人大分県芸術文化振興会議とのより一層の連携				

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

事業名	おおいた文化のひろば創造事業		事業期間	平成27年度～平成29年度		政策区分	芸術文化による創造県おおいたの推進
				施策区分	芸術文化の創造		
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	文化課		評価者	文化課長 佐藤 晃洋

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	県立美術館開館を契機とした全県的な芸術文化の振興のため、各地域の文化施設等との連携や、若者や子どもたちが芸術文化を鑑賞・表現する機会の充実が課題となっている。	事業の目的	県民が芸術文化に触れる機会を拡充する。
-------	---	-------	---------------------

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	事業実施年度における効率化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①おおいた未来のクリエイター交流事業 大分市中心部商店街等で高校生や一般県民の芸術作品を展示(6団体) 文化団体等による子ども向けワークショップの実施(1回)	・県内学校や文化連盟等との連携 ・公立文化施設での展示	総コスト		21,889	22,301
		事業費 (うち一般財源)		1,889	2,301
人件費			20,000	20,000	
職員数(人)			2.00	2.00	
②おおいたの文化アウトリーチ事業(出張企画展) 県立歴史博物館が誇る収蔵品を県内各地域で出張展示(3箇所、13,219人)					

活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成 (29年度)	評価	今後の課題
	商店街展示作品数(点)	目標値		210	220	230	a	・小中高生の主体的な芸術文化活動への参画 ・各地域での効果的な広報活動の実施
		実績値		208				
		達成率		99.0%				
	出張企画展開催回数(回)	目標値		3	3	3		
		実績値		3				
		達成率		100.0%				

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成 (29年度)	評価	事業の成果
	出張企画展の来場者数(人)	目標値		2,000	14,000	14,000	a	芸術文化ゾーンにおける学生等による作品展示やワークショップを通じて、高校生等が自ら創造し、発表する場を創出することができた。また、県立歴史博物館から離れた会場での出張企画展を通じて、幅広い地域で郷土の文化を鑑賞してもらうことができた。
		実績値		13,219				
		達成率		661.0%				

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
--------	----	---------------	--------	----

今後の事業方針

- ・県内学校等と連携し、子どもたちの発表機会をさらに充実
- ・事業の周知を図るため、ホームページ等を活用した積極的な広報活動の実施
- ・出張企画展未開催の地域に対しても事業効果を広げる企画の立案